

水関連の用語を持つ集合住宅の立地分布から見た水辺の影響範囲  
 - 東京都足立区を事例として -

Waterside impact range as it is seen from the rich distribution  
 of collective housing with a water-related terms  
 - Adachi Ward, Tokyo, as a case study -

○深草安那<sup>1</sup>, 畔柳昭雄<sup>2</sup>, 菅原遼<sup>3</sup>

\*Fukakusa Anna<sup>1</sup>, Kuruyanagi Akio<sup>2</sup>, Sugahara Ryo<sup>3</sup>

Abstract: In recent years, along with the coming growing interest in the human environment, in the city you can feel familiar waterside is assumed to be representative of the "water park". The Building names is found that the "building bears the name of the water park". it is considered that by attaching the name of the region, the region of the image is added to the building image since the names of things is considered. Architecture relating to real estate value of buildings focuses on water-related terms, it is intended to determine the waterside of the influence range.

1. はじめに

近年, 人々の水辺環境への関心が高まってきており, 都市部においては, 水辺を身近に感じることができる施設として「親水公園」を代表とする親水空間が整備されている. こうした水辺を都市の骨格としたまちづくりは, 水辺環境整備により都市の緑地を効果的につなげ, 水と緑のネットワークを形成することにより都市の美観の向上につなげている.

こうした中で, 「親水公園」が周辺に与える影響とされている. こうした, 建築名称は, 地域の名称を付けることによって, 建物のイメージに地域のイメージが付加されることから, 建物の不動産的価値に関係することが考えられ, 建築名称に着目した既往研究<sup>[1]~[4]</sup>では, 「親水公園の名称を冠する集合住宅」が増加していることが明らかとなっている.

そこで本研究では, 水に関連する用語を含む名称の集合住宅に着目し, その名称に影響の強い親水公園や緑道といった水辺環境整備を把握し, 水関連の用語をもつ集合住宅の分類を目的とする,

2. 研究方法

2-1. 調査対象地概要

調査対象地の概要を Figure 1 に示す. 本研究では, 東京都足立区を調査対象とした. 足立区は東京 23 区の東北部に位置し, かつては東京の穀倉と言われた農業地帯であり, 見沼代用水, 葛西用水を大動脈とする農業用水路が区内を縦横に走っていた. 現在では, 区内を荒川, 綾瀬川, 堀川, 伝右川, 新芝川, 旧綾瀬川, 毛長・江川の計 8 河川が流れている.



Figure 1. Research Area Outline

Table 2. Result of Investigation

要素	件数	名称	件数	日本語	英語
親水公園	10	親水公園	7	●	
		Shinsui kouen	3		●
公園	92	公園	27	●	
		パーク	65		●
海	2	紫海	1	●	
		Sea wave	1		●
河川	5	リバーサイド	4		●
		リバーシティ	1		●
		リバー	1		●

1 : 日大理工・院(前)・海建 Graduate School ,Nihon-U.

2 : 日大理工・教員・海建 Prof. CST ,Nihon-U. , Dr. Eng

3 : 日大理工・教員・海建 Assistant, Prof, CST ,Nihon-U. , M. Eng.

## 2-2. 調査方法

本調査では、まず、ゼンリン住宅地図（2015 年版）を用いて、水に関連する用語を含む名称の集合住宅（マンション・アパート）を抽出した。次に、その集合住宅の名称に含む水に関連する要素毎に分類した。

## 3. 水に関連する用語

集合住宅の名称より抽出された水に関連する用語の分類 Table2 と分類別の集計を Figure3 に示す。本調査では、「水に関連する用語を含む名称の集合住宅」は全 109 棟確認できた。また、各集合住宅の名称に含まれる水の用語を分類すると、「海」、「河川」、「公園」、「親水公園」の 4 種類に大別できた。なお、「公園」を含む名称の集合住宅は、足立区における親水公園の影響を受けた施設も存在すると考えられ、水に関連する用語として分類した。その結果、「公園」が 8 割程と最も多く確認でき、「親水公園」、「河川」、「海」と続く。

集合住宅の名称より抽出された水に関連する用語の分類別の詳細を Figure4 に示す。次に、分類毎の詳細を見てみると、最も多く抽出された公園は、「公園」及び「パーク」という用語を含む集合住宅が見られた。特に、「公園」と比べ「パーク」を含む名称の集合住宅が多く確認できた。次に、河川は「リバーサイド」、「リバーシティ」、「リバー」を含む名称の集合住宅が見られた。特に、「リバーサイド」が多くの集合住宅の名称に含まれていることが確認できた。さらに、親水公園は「親水公園」と「Shinsui kouen」とローマ字で表記されたものが名称に含まれていることが確認できた。また、海も同様にとローマ字で表記された「Sea wave」と「紫海」が名称に含まれていることが確認できた。

## 4. おわりに

本研究では、足立区における「水に関連する用語を含む名称の集合住宅」109 棟を抽出し、最も多く抽出された用語は「公園」の 92 棟であり、「親水公園」の 10 棟、「河川」の 5 棟、「海」の 2 棟確認することができた。今後は、集合住宅の名称から水辺の影響範囲を捉えるために、「水に関連する用語を含む名称の集合住宅」の分布状況を明らかにすることで、その「親水公園」が持つ影響範囲の把握を行う。さらに、集合住宅の竣工年代や建物名称に関する法制を整理し、建物名称が付与された経緯や背景を捉えていく。

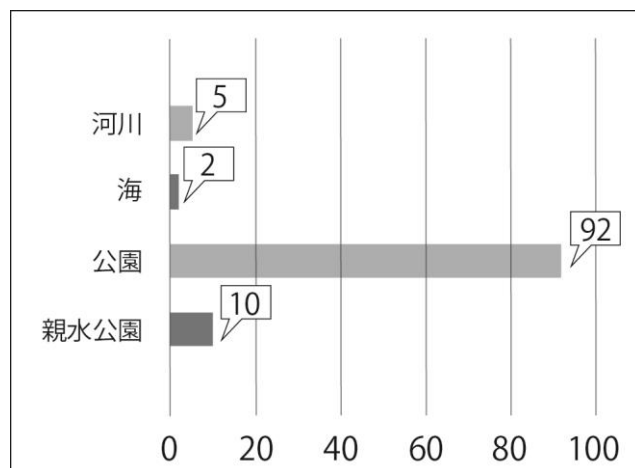


Figure 3. The Number of by Each Element

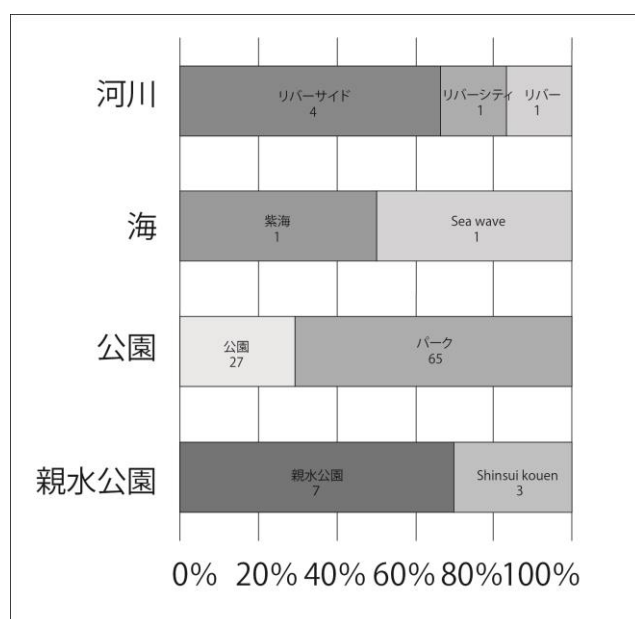


Figure 4 .Each Element by Name

## 5. 参考文献

- [1] 長岡茜:「建築名称を通して見た水と建築の関係性に関する研究-江東区を事例として-」2012,
- [2] 岡諒一:「水の関連の用語を持つ集合住宅の立地分布から見た水辺の影響範囲-」2013,
- [3] 上山肇,北原理雄:「親水公園の周辺土地利用と建築設計に及ぼす影響」1994, 11,
- [4] 大佛俊泰, 小川健一:「建物名称の空間分布からみた地域イメージの魅力度分析」,日本建築学会計画系論文集 pp101~107,2004.2
- [5] 足立区:「環境用水導入事例集～魅力ある身近な水環境づくりにむけて～」,資料 ,2007
- [6] 畔柳昭雄,渡辺秀俊:「都市の水辺と人間行動 都市生態学的視点による親水行動論」,共立出版,1999.5,